

# 語 研 便 り

大東文化大学 語学教育研究所広報 (2022 年 10 月)

## 研究発表会のお知らせ

2022 年度、第 2 回研究発表会を下記のとおりオンラインで開催いたします。  
ふるってご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

### 記

日 時 : 2022 年 10 月 31 日(月) 午前 11 時 00 分～

参加方法 : 本発表会は学内限定で Zoom を使用して開催します。  
Zoom の URL、ミーティング ID 等は別途メールでお知らせします。  
ご不明な点は、語学教育研究所までお問い合わせください。

①発表者 : 孫 云偉 先生 (語学教育研究所 特別研究員)

題 目 : 江戸時代『平妖伝』本城訳における漢語の使用状況  
— 昭和期太田辰夫訳との比較 —

概 要 : 本研究は、日本で翻訳された中国明末の白話小説『平妖伝』における漢語収録状況を分析し、日本における漢語使用の史的考察を試みる。江戸末期本城維芳訳『通俗平妖伝』(1802) に幅広く漢語を取り入れ、「唐話」を重要視する側面を窺える。それに対して、昭和期太田辰夫訳(1967)の漢語使用は随分少ない一方、独自の漢語収録も見える。両訳の漢語収録を分析し、成因を追い求める。

②発表者 : 李 冬松 先生 (語学教育研究所 客員研究員)

題 目 : 日本語版『共産党宣言』における  
「国民性 (nationality)」の訳語変遷

概 要 : 19～20 世紀の民族解放運動の波の中で、「nationality」という概念は意味が複雑になり、論争的な政治学概念となっていた。本発表は『共産党宣言』のドイツ語原本及び英語、フランス語、ロシア語訳本を用いて、異なる日本語バージョンのこの概念に対する翻訳全貌及び訳語の変遷を考察する。さらに、マルクス、エンゲルスが他の場面で用いたこの概念に触れ、その意味合いを吟味し、日本語版における訳語の適切性を分析する。

以上

[問い合わせ先] 語学教育研究所 E-mail : [daitogoken@gmail.com](mailto:daitogoken@gmail.com)